

2017年10月16日（月）

こころの支えになる、これからの生き方の指針になる大切な言葉を収録！

## 「相田みつを手帳2018」

10月16日（月）より発売

スタート出版株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）は、「相田みつを手帳2018」を10月16日（月）より全国書店、および相田みつを美術館で発売いたしました。自分の書、自分の言葉で「いのち」を見つめつづけた相田みつを。「相田みつを手帳2018」は、こころの支えになる、これからの生き方の指針になる大切な言葉を月ごとに紹介。切り取って飾ったり、人に贈ることができる作品ページもついています。

手帳を開くたび、大切な言葉と出会えます。



## 【相田みつをプロフィール】

1924年、栃木県足利市生まれ。1954年、第1回個展を足利市にて開催。その後、亡くなるまで約20回の個展を開いた。1955年、ろうけつ染めの技術を学び暖簾、風呂敷等を制作。足利の老舗商店の包装紙やしおりのデザインを手がけた。1984年、初めての本『にんげんだもの』を出版。大きな反響を呼び発行部数は200万部を超えた。1991年、足利市内の病院で永眠。享年67歳。没後も作品の評価は高まる一方で、2017年ノーベル経済学賞を受賞した米シカゴ大学のリチャード・セイラー教授も絶賛している。

10月16日（月）全国書店または相田みつを美術館にて発売！

定価1,500円+税 ISBN978-4-8137-7014-5